

令和7年4月25日受付 肝付町議会事務局 第187号	議長	局長	次長	係
	電子	電子	電子	電子

委員会会議録

〔産業・福祉委員会〕

1. 日 時 令和7年4月22日(火)
午後2時00分開議 ～ 午後4時40分散会
2. 場 所 町立病院、支所3階会議室
3. 出席委員 吉原・前田・田中・中原・木村・益山・田布尾 計7名 欠席なし
4. 事務局職員 小野原
5. 説明員 町立病院 院長(病院内視察時のみ)及び事務長、担当職員
6. 会議に付した事件

議題(議事)

1. 町立病院について
 - 町立病院現地視察
 - 説明・質疑応答・意見交換

2. その他

協議内容

1. 町立病院の現状と課題について

- 町立病院側から説明(事務局職員2名が説明、院長は公務で欠席)
 - 施設の現状: 築40年以上(昭和59年移転)経過し、老朽化が著しい。岸良出張診療所は築50年以上。
 - 病院機能: 一般病床40床。地域医療構想上は「回復期」機能と位置づけられているが、同医療圏内では回復期病床が不足している。救急告示病院として24時間365日体制で救急車・ウォークインに対応。
 - 診療体制: 内科、外科、整形外科、婦人科、放射線科に加え、近年、認知症等に対応するため神経科を開設。通所リハビリ、訪問診療等も実施。岸良診療所は週2回午前中のみ開所。
 - 職員体制: 常勤医は4名(院長・副院長+地域枠・自治医大医師)。地域枠等の制度により医師確保は現状維持できているが、長期的な人材確保は課題。全体で57名体制。
 - 経営状況: 医業収益だけでは運営できず、町からの法定外繰入金(令和5年度は約8,600万円)に依存。国の経営強化プランに基づき、収支改善が目標。
 - 地域医療構想調整会議: 令和2年2月に現在の病床数・機能が承認されている。変更には同会議の承認が必要。
 - 主な課題: 施設の老朽化、経営赤字、長期的な人材確保、地域連携強化、働き方改革、DX推進、診療の質維持・向上など。
- 質疑応答・意見交換(委員より)
 - 木村委員: 院長の専門(消化器外科)と町の高齢化を踏まえ、病院の「かかり

つけ医」としての役割について質問。過去に病院のあり方を議論した検討委員会があったことに言及。

- **益山委員**：視察した際の建物の傷み、特に「耐震性への懸念」を強く表明。具体的な修繕計画の有無を質し、財政状況も踏まえ、建て替え・連携・機能特化など長期的な方向性を検討する必要性を強調。
- **中原委員**：同様に施設の老朽化、特に耐震性の問題を指摘。避難経路（スロープ等）の必要性にも触れ、5カ年計画の中で建て替え等の方針と財源（基金等）を明確にすべきと発言。
- **全体**：施設の老朽化、耐震性への懸念、長期的な戦略プランの必要性について、委員間で共通認識が示された。

2. その他（今後の進め方）

- 町立病院の件については、これで終了し、次回委員会日程は、連休や研修日程を考慮し、後日調整することとした。

まとめ

- 町立病院は築40年以上が経過し、老朽化、特に耐震性への懸念が深刻な状況であることが確認された。
- 国の経営強化5カ年計画は進行中だが、それとは別に、建て替えを含めた病院施設のあり方や将来的な機能について、長期的な戦略・計画を策定する必要性が強く認識された。
- 委員会として、町の執行部に対し、病院の将来的なあり方を検討するための専門委員会（過去の「あり方検討委員会」に類するもの）の設置等、具体的な検討プロセスを開始するよう正式に要請することを決定した。
- 委員からは、地域にとって重要な施設である一方、現状のままでは持続可能性に大きな疑問符がつくとの意見が多く出された。施設の安全性確保と将来構想の具体化が急務である。

産業・福祉委員長

吉原 光



令和7年5月30日受付 肝付町議会事務局 第239号	議長	局長	次長	係
	電子	電子	電子	電子

委員会会議録

〔産業・福祉委員会〕

1. 日 時 令和7年5月27日（火）
午前10時00分開議 ～ 午前11時00分散会
2. 場 所 支所3階会議室
3. 出席委員 吉原・前田・田中・中原・木村・益山 計6名 欠席委員 田布尾
4. 事務局職員 小野原
5. 説明員 なし
6. 会議に付した事件
議題（議事）

1. 町立病院について

2. その他

協議内容

主な論点と意見

- 報告書の表現について
 - 2.調査の経緯中、「町民にあまり知られていない」という表現を、「町立病院の現状とあり方を調査する」に変更を検討する。
 - 7.現地調査中、「はがれていた」の表現を「剥離もみられる」に変更を検討する。
- 報告書の内容について
 - 病床数: 実際の収容可能人数と報告書記載の病床数に差異がある可能性。病院に確認し、必要であれば修正。
 - 繰入金の状況: タイトルを「繰入金の状況」とし、法定内・法定外繰入金の説明を明確にする。令和元年度の繰入金（ゼロ）も記載する。
 - 無料送迎: 具体的な運行スケジュールや利用方法を別紙で示すか、報告書に記載する。いつから開始したかなども明記。
 - 診療科目: 新たに始まった診療科目（放射線科、神経科など）を色付けなどで強調するか、新たに加わった旨を記載する。
 - グラフの活用: 患者数の推移などはグラフ化した方が分かりやすい。
 - 写真の活用: 現地調査時の写真などを活用し、視覚的に分かりやすい報告書にする。
- 委員会としての対応
 - 町立病院の改善について、専門家を加えた委員会等の設置を正式に要請する。
 - 産業・福祉委員会で奉仕作業（草刈りなど）を検討。その際の日程調整や病院側との連携を行う。

決定事項・今後について

- 報告書の表現を検討する。
- 病院に病床数や無料送迎の現状を確認する。
- 繰入金状況に関する記載を修正・追記する。
- 新しい診療科目に関する記載方法を検討する。
- 患者数推移のグラフを追加する。
- 現地調査時の写真の活用を検討する。
- 専門家委員会の設置を要請する文言を調整する。
- 奉仕作業について、日程や病院との連携を検討する。
- 次回委員会開催日については、後日連絡。

産業・福祉委員長

吉原 光



令和7年6月11日受付	議長	局長	次長	係
肝付町議会事務局 第262号	電子	電子	電子	電子

委員会会議録

(産業・福祉委員会)

1. 日時 令和7年6月10日(火)
午前10時00分開議 ～ 午前10時35分散会
2. 場所 支所3階会議室
3. 出席委員 吉原・前田・田中・田布尾・木村・益山 計6名 欠席委員 中原
4. 事務局職員 小野原
5. 説明員 なし
6. 会議に付した事件
議題(議事)

(1) 町立病院について

(2) その他

協議内容:

(1) 町立病院について

① 所管事務調査報告書について

- ・資料の修正: グラフの縦書き表記を横書きに変更するなど、資料の体裁について修正を行う。
- ・経過年数の誤記訂正: 7番と10番の項目で、40年経過と記載されている箇所を「41年経過」に訂正する。

(2) その他

① 次回委員会調査事項について

- ・温泉ドームの現状調査: 委員から温泉ドームの雨漏りや施設の老朽化に関する苦情が報告され、次回委員会で現状調査を行うことが決定した。

② 全体研修の提案:

- ・串本町の民間ロケット施設: 民間ロケットの先進事例として研修先の候補に挙げた。
- ・大阪万博: 日本の将来を考える上で重要な場として研修先の候補に挙げた。

③ 町の産業振興について:

- ・陸上養殖の重要性: 海の酸性化が進む中、陸上養殖が重要な産業になるとの意見が出た。
- ・町の役割: 企業が参入しやすい環境づくり(補助金、インフラ整備など)を町が行うべきとの意見が出た。
- ・今後の進め方: まずは委員会として調査を行い、その後、代表質問などで町に働きかけていくことが提案された。

次回予定: 次回開催日時は後日連絡

産業・福祉委員長

吉原 光

